

指導資料



鹿児島県総合教育センター

社会 第101号

- 小学校，盲・聾・養護学校対象 -

平成15年11月発行

調べ考える力を育成する社会科学学習指導

小学校学習指導要領社会編（以下学習指導要領）では，児童の発達段階に応じた調べ考える力を育成することが重視されている。

このことを踏まえ，社会科の学習指導では今まで以上に調べ学習の積極的な取組がみられるようになった。しかしながら，一方では調べ学習が児童任せになったり，教師の支援の不足から形だけに終わってしまったりするなど，観察・資料活用の技能・表現や社会的な思考・判断にかかわる力が，十分に育成されていないという課題も依然として残っている。

そこで，本稿では特に調べ考える力に着目し，その育成の重要性や学習指導の工夫などについて述べる。

1 今こそ求められる調べ考える力

社会の状況や様子は，時間の経過とともに移り変わる。例えば，第3学年及び第4学年で取り扱う「自分たちの住んでいる身近な地域や市(区，町，村)などの様子」，第5学年の「我が国の国土の様子」等は，時代の変遷とともに内容が変化するので，単に現在の様子を調べ，理解させるだけの授業では，社会的事象の本質をとらえさせ

ることはできない。ここで大切なことは，調べたことから社会的事象のもつ意味や特色，働きなどを考えられるようにすることである。つまり，見えるものから見えないことを考え導き出す力や調べたことを基にその事象がもつ意味や働きを考える力，他の対象や事例に対しても応用・転移することができる生きて働く知識や力などを身に付けさせることが大切である。このことは，生きる力の主要な要素である自ら学び自ら考える力をはぐくむことにつながっていくものである。

2 学習指導要領でとらえることのできる調べ考える力

学習指導要領には，各学年の「内容」において，調べ方の方法や調べることは何か，それを基に考えさせたい内容はどんなことが構造的に示されており，調べ考える力を育成する社会科の授業のイメージが具体的につかめるようになっている。

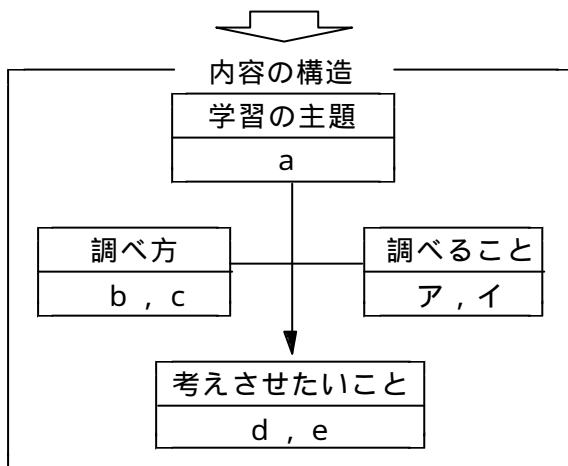
例えば，第6学年の内容(2)を参考例として挙げる。

a 我が国の政治の働きについて，次のことを b 調査したり c 資料を活用したりして

調べ、d 国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、e 現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。



3 調べ考える力を育成する学習活動の進め方

(1) 児童の実態に基づいた目標等の設定
 児童のこれまでの経験や興味・関心に基づいて、学習の目標や問題解決の道筋(何を調べ、何を考えるのか)を弾力的に設定する。

(2) 調べ考えさせる時間と場の設定
 指導計画の中で調べるための技能や方法、考えるための技能や方法を具体的に指導する時間を確保する。

授業を展開するには、児童に「その社会的事象がどのような意味をもつか」、「なぜそのようなになっている

のか」などについて、考えさせる場を設定する。

(3) 学習活動の複線化

児童の個性をよりよく伸ばし、主体性をはぐくんでいくためには、調べる方法や対象、調べたことや考えたことのまとめ方等を児童の学習状況を踏まえながら複数準備することが必要である。その際、児童に自分の興味・関心を意識させながら選択させるなど、児童のよさを生かしながら、学習を展開していくことが大切である。

(4) 調べ考える学習活動を深める手だて

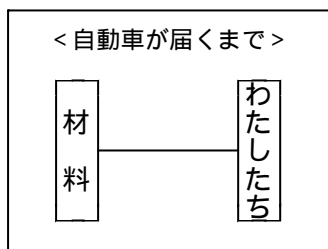
調べ考える学習は、基本的には個別的な営みであるが、児童は一人で調べ考えた内容を基に、友達と一緒に話し合うことで一層調べ考えたことを深めることができる。例えば、授業では「 について一人で調べる」や「 について自分の考えをまとめてノートに書く」など児童個々の力で調べ考えたことを基に「友達の考えを聞いて、自分の考えを確かめたり修正したりする」などの集団で練り上げる学習活動を取り入れることが大切である。

4 調べ考える力を育成する学習指導の工夫

調べ考える力は、問題解決学習の過程で最も効果的に培うことができる。ここでは、問題解決の過程で児童に調べる見通しをもたせ、考える視点や道筋を与えることに有効と思われるイメージ図の活用とその発問の工夫について述べる。

(1) イメージ図の活用

何を調べたらよいか分からない児童には、調べる見通しをもたせることに主眼を置いたイメージ図の活用が有効である。例えば、第



イメージ図

えさせることで、「材料」から「わたしたち」までの間の時間を追いながら調べ検討し、分かったことを書き込ませていく。児童はその過程で多くの人々がかかわっていることに気付

5 学年「自動車を
つくる工業」では、
自動車が届くま
での間にどんな
仕事をしている
人がいるのかを考

き、考えは深まっていく。そして、イメージ図に書き込んだ内容を基に、調べることを焦点化し、決定していくのである。

(2) 発問の工夫

発問には、考える視点や道筋を明確にもたせたり、今まで見たり聞いたりしているが、気付いていなかったことに気付かせる働きがある。問題解決の過程で、考える視点や道筋を与えるような発問（下記の表を参照）を用意し、児童の状況を把握しながら発問すれば、問題解決の道筋をとらえていない児童に対しても思考を活性化させることができる。

<問題解決の過程に沿った発問の意図や具体例>

問題解決の過程	発問の具体例
情報収集 <これまでの諸経験等からどのようにとらえるかを問う。>	・「これは何でしょうか」 ・「見たことがある人はいませんか」 ・「あれっ、おかしいなと思うことはありませんか」 など
情報の分類・整理 <事実や共通点、相違点等を問う。>	・「同じだと思うのはどれとどれですか」 ・「違うと思うものはどれとどれですか」 ・「気付いたことをノートに書きなさい」 など
問題の発見・把握 <疑問、発見等を問う。>	・「あれっと思案中に思うことは何ですか」 ・「 はどのようにして××になりましたか」 ・「 から何が分かりますか」 など
予想・仮説 <予想・仮説等を問う。>	・「 ののは、どうしてだと思えますか」 ・「『～ならば、～である』『～であれば、～なりやすい』などの形で書いてごらんください」 など
調べる計画 <どのようにして調べ考えようとしているか目的・方法・まとめ方等を問う。>	・「 について調べるには、どのような方法がありますか」 ・「何を調べようとしていますか」 ・「他にどんな調べ方がありますか」 ・「どのように、まとめますか」 など
事実の確認 <手に入れた結果や、考えの基になる資料の確かさ等を問う。>	・「新たな発見があった人は、発表してごらん」 ・「友達同士で確かめ合ってみましょう」 ・「分かった基になるものは何ですか」 ・「どの資料でその事実が分かりましたか」 など
意味付け・関係付け <結果を基にどう意味付けたか、またその根拠等を問う。>	・「調べたことからどんなことが言えますか」 ・「その考えの基になったのは、どの資料ですか」 ・「 については、どんなことが原因だと思いますか」 など
吟味 <他の意見と比較し、どのように吟味するか等を問う。>	・「 さんの意見を聞いて、どう思いますか」 ・「自分の予想と比べてどうなりましたか」 ・「自分の考えは何を基にしましたか」 など

5 学習指導の実践例（知覧町立松ヶ浦小学校 肥後芳文教諭の実践事例を基に作成）

(1) 小単元名 「情報を伝える人々」（大単元名「暮らしを支える情報」）



(2) 小単元の目標

情報がどのように届けられるのか、自分なりの予想を立てることができる。また、自分の調べ学習について、分かったことや調べられたこと等を確認し、自己評価することができる。【思考・判断】

調べたことを明確にするために、資料を活用し分かりやすくまとめる。【技能・表現】

情報の働きや影響、情報産業に従事する人々の努力や工夫を理解することができる。【知識・理解】

(3) 小単元の指導計画(全3時間)

過程	主な学習活動	指導と評価()評価方法, 【 】観点)						
つ か む 見 通 す (1)	1 前時を振り返り、情報が私たちにとって必要であることを確認する。 2 これまでの学習から学習課題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">わたしたちの生活に必要な情報は、どのようにしてわたしたちのところまで届けられるのだろうか。</div> (1) わたしたちのところへ届くまで、どのような仕事をする人がいるか、予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">出</td> <td style="border: 1px solid black; width: 80%;"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">わたしたち</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">来</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事</td> </tr> </table> </div> 図1 イメージ図 (2) 自分の予想をノートに記入する。 3 調べる内容・方法を話し合い、確認する。 【内容】 どのような仕事をする人がいるか。 仕事をする人は、どんな事に気を付けているか。 【方法】 教科書・資料集・電話・FAX・図書の本など	出		わたしたち	来		事	指導と評価()評価方法, 【 】観点) ノートを基に前時を振り返り、情報の必要性を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが一番情報を得るものは何ですか」 ・「テレビのニュースの場合で考えてみましょう」 ニュースができるまでを事例に、イメージ図(図1)を参考にさせながら、調べる内容を考えさせる。 児童のノートは見開き2ページ使用し、上半分にイメージ図を写し、「出来事」と「私たち」の間に、どんな仕事をする人がいるかを予想し、書き込みをさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「これらを調べるにはどのような方法がありますか」 調べる内容では、仕組みだけでなく、放送に携わる人の工夫や努力も調べさせる。そのために「人」に視点を向けさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 情報がどのようにして届けられるのが、自分なりの予想を考えることができる。 (発言・ノート)【思考・判断】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「これらを調べるにはどのような方法がありますか」 ・「調べることは何ですか」 調べる内容と方法をノートに記入し、自分の調べる方法を選択できるようにする。
出		わたしたち						
来		事						
調 べ る (1)	4 前時に確認した方法で調べ、まとめる。 (1) 前時にまとめた調べる内容と方法を確認する。 (2) まとめ方の確認をする。 (3) 個人で調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> 図2 調べ学習後の児童のノート	まとめ方については、予想と同じようにイメージ図を書き、調べたことを書き込んでいくように指導する。(図2 参照) <ul style="list-style-type: none"> ・「予想を書いた次のページに同じように図を書きなさい」 ・「ここに予想の時と同じように、どんな仕事をする人がいるか調べ、まとめてきましょう」 ・「その下に、その仕事をする人がどんなことに気を付けているかについてもまとめてみましょう」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自分が調べたことを明確にするために、資料を活用し、分かりやすくまとめる。 (ノート)【技能・表現】 </div> 児童の調べた見開き2ページのノートを全員分印刷・配布し、自分が調べたことの共通点や相違点などを確認できるようにする。						
ま と め る (1)	5 調べたことを基に発表し、ニュースづくりの仕組みや働く人々の工夫や努力について話し合う。 (1) 調べたノートを基に仕事をする人を短冊カードに書いて張る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> (2) 順番を検討する。 (3) 仕事をする人が気を付けていることについて話し合う。 (4) 情報を伝える仕組みについてまとめる。	短冊カードを活用し、「どんな仕事をする人がいるのか」人に着目させ、その順番を検討することにより、仕組みを理解できるようにする。 話し合いで出された意見の中で自分が調べていないものには、青で記入し、大事なまとめは赤で書き加えるように指導する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 情報産業に従事する人々の努力や工夫を知ることができる。 (発言・ノート)【知識・理解】 自分の調べ学習について、分かったことや調べることができたこと等を確認し自己評価することができる。 (ノート・自己評価票)【思考・判断】 </div>						

各学校においては、調べ考える力を育成するために、児童の調べる活動や考える場面を積極的に指導計画に位置付けるなど、児童が主体的に活動することができるよう学習指導を工夫・改善することが望まれる。

【参考文献】

文部省『小学校学習指導要領 社会編』平成11年5月
 『授業研究21』1999年10月号 明治図書
 (第一研修室)